

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-44	中学校	道徳科	道徳	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 038-72	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき		

▶ 1. 編修の基本方針

よりよい未来の創造に向け 変革を起こす力を育むために

人格の完成を目ざすところとする教育基本法に基づき、
これからの学校には、一人一人の生徒が、

- ・ 自分のよさや可能性を認める
- ・ あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- ・ 多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
- ・ 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるようになる教育が求められています。

私たちは、これらを実現するために、次の三つを大切に
教科書を編修しました。



ポイント

1

主体的な学び手を 育てる

...

主体的な学び手を育てるため、1年間の初めに道徳科は何を学ぶ教科なのかを自覚し、自分なりの学びの目標がもてるようにしました。また、学年末には、1年間道徳科で学んだことが、自分にとってどんな意味があったのかをしっかりと振り返れるようにしました。

ポイント

2

自ら問いをもち 探求する

...

自ら問いをもち、その問いを探求する姿勢を育めるような工夫をしました。学年の最初に問いをもつ大切さを意識させ、自分の中に芽生えた疑問を問いの形にできるような場を設けました。3学期には、問い合うことによって考えを深め、物事の本質を探求する教材を配しました。

ポイント

3

人権に対する 感性を育む

...

よりよい未来に向かって多様な人々と共に生きていくためには、人権に対する感性を磨く必要があります。道徳科として人権に対する知識と考え方を学び、生徒一人一人の感性を高められるよう、人権のユニットを設けました。

ポイント 1 主体的な学び手を育てる——見通す・振り返る

第1教材「①道徳の学習を始めよう」

何を学ぶのかを意識する

- ・道徳科を学ぶ心構えをつくれるよう、三つのポイントを示しました。答えが一つではない問いについて考えていくために、自分と、そして他者と向き合うことを促しています。また、学んだことをさまざまなことに結び付けるように呼びかけました。
- ・これからの1年間、どんなことを学んでいきたいか、自分なりの目標を立てることを呼びかけます。
- ・22の内容項目を、イラストと共に紹介。各教材冒頭にも内容項目を明示することで、その教材で何について考えるのかを自覚できます。



p.6-7

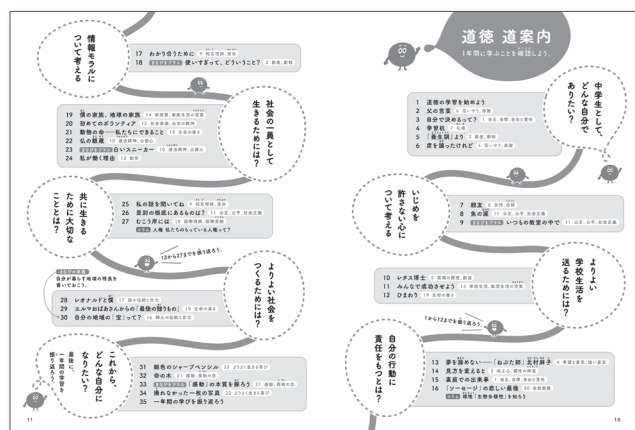


p.8-9

多様な学びを意識できるユニット構成

ゆるやかなテーマで学びをつなぐ

- ・教材一つ一つを独立させるのではなく、幾つかの教材が関わりながらテーマに向かって考えられるように、ユニットを構成しました。よりよく生きることについて、さまざまな観点でアプローチできます。



p.10-11

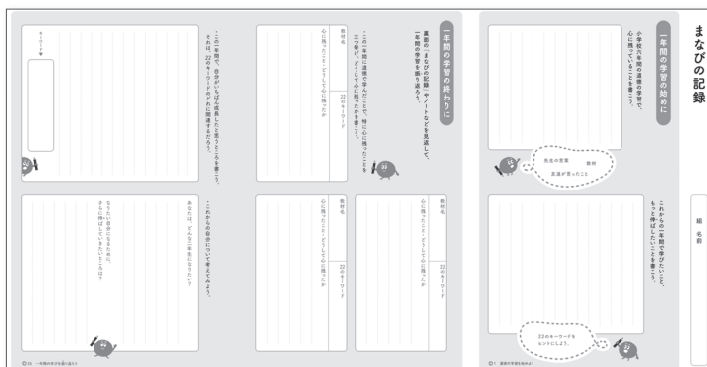
最終教材「㉔一年間の学びを振り返ろう」と折込「まなびの記録」

振り返ることで、学んだことの価値を実感する

- ・最終教材「㉔一年間の学びを振り返ろう」では、第1教材で初めに立てた目標を思い出し、道徳の学びが自分にとってどのような価値があるものだったかを振り返ります。その際、巻末の折込「まなびの記録」に書き溜めてきた一言感想を見渡しなが、1年間の自分の成長を見つめます。



p.168-171「㉔一年間の学びを振り返ろう」



折込「まなびの記録」

ポイント 2 自ら問いをもち探求する

✓ 道徳で大切にしたいこと 問うことの大切さを意識する

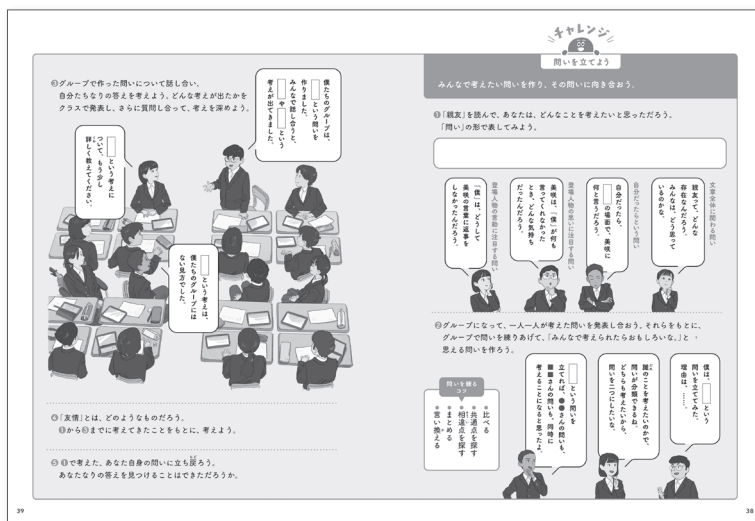
- ・第2教材では、「道徳で大切にしたいこと」として、「問う」ことから道徳科の学習を整理しました。「自分に問う」「友達と問い合う」「生き方を問う」とし、自ら問いをもち、その答えを探求する姿勢を意識させます。



p.15「道徳で大切にしたいこと」

✓ 「問い」を立てて考える みんなで考えるに足る問いをつくる

- ・生徒自らが問いを立て、考えを深められるようにしました。生徒が自分の事として問いをもちやすい「友情、信頼」の教材に、通常でびきに加えて、問いを立てて取り組む学習活動の手順を示した「チャレンジ 問いを立てよう」というページを用意しました。どちらかのでびきを選んで取り組むことが可能です。

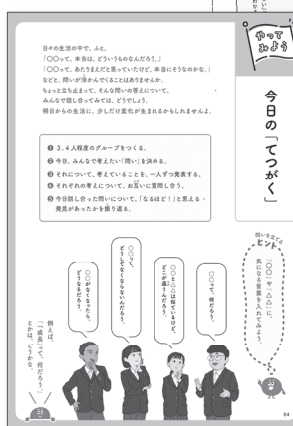


p.38-39「チャレンジ 問いを立てよう」

✓ 「問い合う」ことを楽しむ 自ら立てた問いの答えを探求する

- ・大人でも悩んでしまう哲学的な問いを掲げている「なんだろう なんだろう」に続けて、「やってみよう 今日の『てつがく』」を設けました。自分の中から生まれる答えのない問いについて、考えをもち寄り、みんなで答えを創り出すことを促します。朝学習の時間などを活用し、普段から問い合うことを呼びかけています。
- ・3学期には、「㉓『感動』の本質を探ろう」という哲学的な対話に取り組む教材を配しました。お互いの考えを深く掘り下げ、問い合いながら「これなら納得できる」という共通理解を見だし、他者と共に新たな価値を生み出す活動です。

p.84 「やってみよう 今日の『てつがく』」



p.160-163

「㉓『感動』の本質を探ろう」

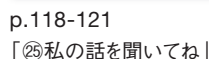
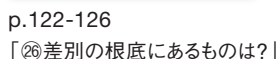
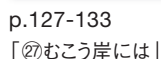
p.82-83「なんだろう なんだろう」



ポイント

「人権」について考えを深めるユニット

教材③ < 教材② < 教材① < とびら



・1年のコラム「私たちのもっている人権って？」では、人権とは何かを解説しています。続く2年では、「私たちが抱えているさまざまな人権の問題」を、3年では、「人権を守るために何ができるのか」について、知ることができます。

二次元コードコンテンツでは「世界人権宣言」や「子どもの権利条約」等の全文を見ることができます。

全ての生徒に使いやすく、わかりやすい教科書を目ざして

・教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

・人権教育の専門家に全面的な校閲をお願いし、教科書全体において、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別の偏りがないようにしました。また、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、記述には十分配慮しています。

- ・「文章の区切りについて」
- ・てびきの問いは、意味のまとまりで改行することで、生徒が問われていることの意味をつかみやすいようにしました。
- ・「個別最適な学び」を実現するために」
- ・一人一人の生徒の特性に合わせて教科書をカスタマイズできるよう、文字の大きさを変更できる機能や、全ての漢字に振り仮名を表示する機能、白黒反転機能、機械読み上げ機能等を搭載した学習者用デジタル教科書を準備しました。

▶ 3. 対照表

[第1学年]

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との 対照	該当頁
巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった生徒へのメッセージを掲載した。	第一号、 第二号	表2-1
1 道徳の学習を始めよう	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うために、道徳を学ぶ意義を考えるとともに、疑問を追究していく態度や他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの大切さを感じることができるようなページを設けた。	第一号、 第二号	6-11
道徳で大切にしたいこと			15
5 「養生訓」より	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	23-27
18 使いすぎって、どういうこと?			89-90
19 僕の家族、地球の家族			91-95
〈やってみよう〉自分の気持ちを相手に伝えるには			32-33
〈付録〉橋の上のおおかみ			172-174
10 レタス博士	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	47-50
33 「感動」の本質を探ろう			160-163
なんだろう なんだろう			82-83
〈やってみよう〉今日の「てつがく」			84
13 夢を諦めないー「ねぶた師」北村麻子	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	60-65
14 見方を変えると			66-69
3 自分で決めるって?	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	16-18
7 親友			34-39
15 裏庭での出来事			70-75
17 わかり合うために			85-88
31 銀色のシャープペンシル			150-154
34 撮れなかった一枚の写真			164-167
4 学習机	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、 第三号	19-22
20 初めてのボランティア			96-99
22 仏の銀蔵			104-108
23 白いスニーカー			109-111
24 私が働く理由			112-116
〈付録〉雨の日の昇降口			175-177
2 父の言葉	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	12-14
6 席を譲ったけれど			28-31
8 魚の涙			40-43
9 いつもの教室の中で			44-46
11 みんなで成功させよう			51-55
25 私の話を聞いてね			118-121
26 差別の根底にあるものは?			122-126
〈とびら〉共に生きるために大切なことは?			117
〈コラム〉人権 私たちのもっている人権って?	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	134-135
12 ひまわり			56-59
16 「ソーセージ」の悲しい最後			76-79
21 動物の命ー私たちにできること			100-103
29 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」			140-144
32 命の木			155-159
〈コラム〉環境「生物多様性」を知ろう	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、生徒の発達の段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	80-81
27 むこう岸には			127-133
28 レオナルドと僕			136-139
30 自分の地域の「宝」って?			145-149
〈付録〉日本の郷土玩具			178-179
35 一年間の学びを振り返ろう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、自主及び自律の精神を養うことができるよう、学習した道徳的価値やそれに関連した自分自身のことを振り返ることのできるページを設けた。	第一号、 第二号	168-171
まなびの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	折込

編修趣意書

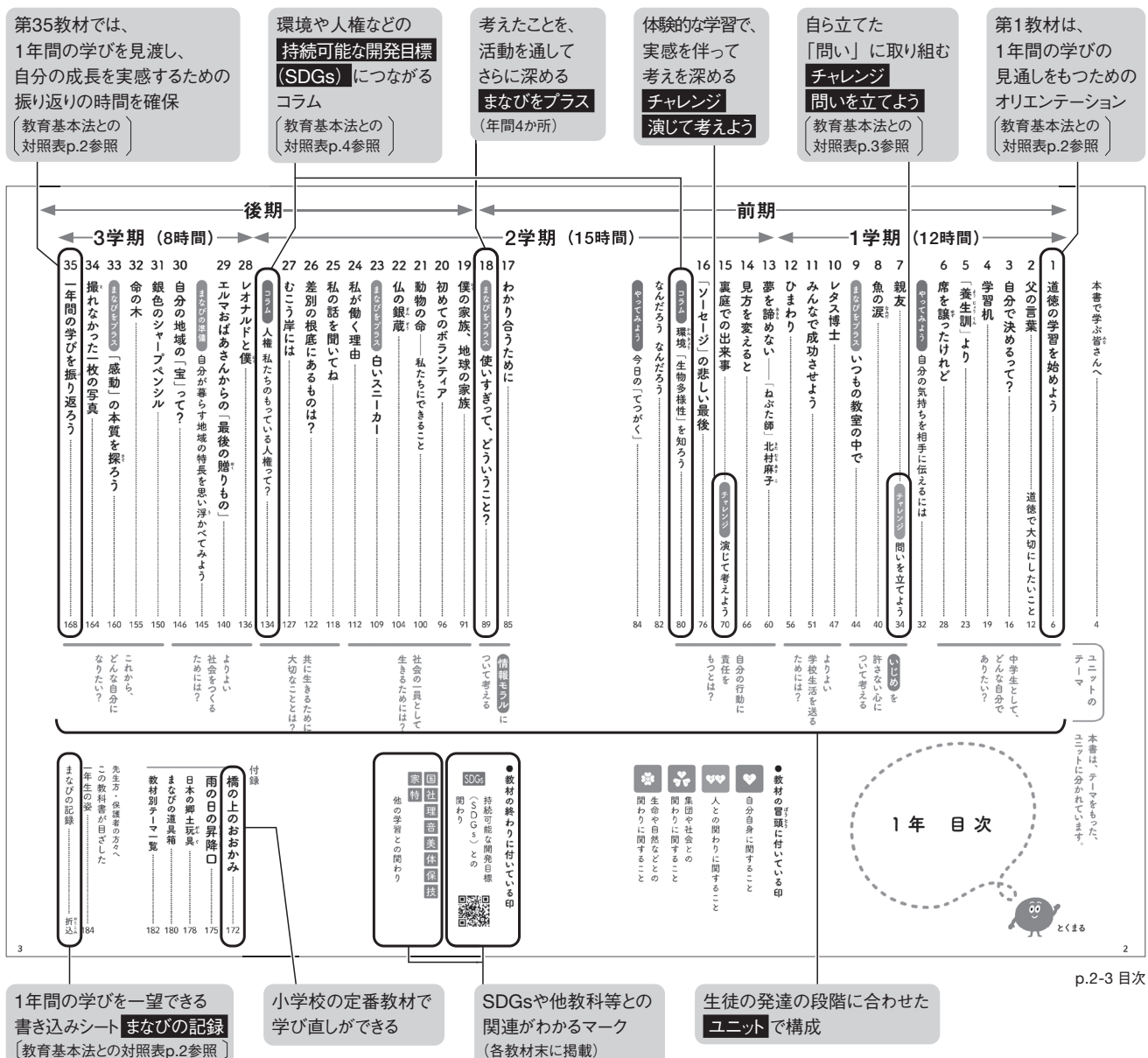
学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-44	中学校	道徳科	道徳	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 038-72	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 よりよく生きるための素地を養う1年間

教材と教材のつながりや、道徳の学びと生徒の生活のつながりを意識し、授業で考えたことが生徒のよりよい生き方に結びつく教科書を目指しました。



p.2-3 目次

誰もが教材を共通の土台にして考え、しっかりと話し合えるよう配慮しました。

紙面にゆとりがあり、机の上で
収まりがよい、**B5変型判**

本時の学びのキーワードを確認
できるよう、内容項目のタグを明示

形と色で判別できる
視点マーク

本文は、
UDフォントを使用

p.12-14「父の言葉」

2
父の言葉

著作者を
明示

松永 徹
横田 子
香

12

中学校学習漢字に振り仮名を付し、
読みの負担を軽減

朗読、資料、動画など、
生徒の学習意欲を高める
デジタルコンテンツ



1 時間の学びの流れが見通せるてびき

考えよう（学びのテーマ）

生徒が、教材を通して何を学ぶのか、学びのテーマをはっきりと意識することができるようにしました。そして、学びのテーマに迫るため、次のような二つの問いを設定しました。

- ① 道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）
- ② 道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い（中心となる発問）

また、最後にもう一度、「考えよう」に掲げた学びのテーマに戻ることで、本時のまとめができるようになっていきます。



見方を変えて

生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、「考えよう」とは切り口を変えた問いを設けました。

つながよう

教材の特質に合わせて、他教科や日常生活、他教材とつなげたり、さらに深めたいテーマへとつなげたりすることを意識した呼びかけを、示しています。道徳の学びが1時間の授業で終わってしまうのではなく、そこからさらに深く考えたり、行動につなげたりできるよう工夫しました。

●日常生活にありがちな、道徳的な判断を求められる場面を取り上げ、対話を通して問題を解決しようとする教材を用意しました。

問題解決の道筋を視覚化し、何のために、何を話し合うのかを、明確にしました。



p.51-55 「⑪みんなで成功させよう」

●体や手を動かして考える学習活動を例示しました。

教材やてびきの特性に応じて、役割演技や思考ツールなどの活動の手立ても示しました。

p.75 「チャレンジ 演じて考えよう」

役割演技の活動では、演じる側に加え、見ている側の観点を、具体的に提示

巻末の**まなびの道工具箱**では、考えを整理したり、話し合いを活性化したりするのに役立つ思考ツールを紹介

p.180-181 「付録 まなびの道工具箱」

● 読み物を通して考えたことを、活動を通してさらに深めていく教材を用意しました。

年間に4か所設けられた**まなびをプラス**。前の時間に教材を読んで考えたことを、次の時間には活動を通して深めたり、違う角度から迫ったりすることで、実感を持った学びに高めます。

いじめ問題

「⑧魚の涙」で公正さや公平さについて考えた後、**まなびをプラス**の「⑨いつもの教室の中で」では、さまざまな立場からいじめを捉えていきます。

いじめを許さない心について考えるユニットに組み込まれています。

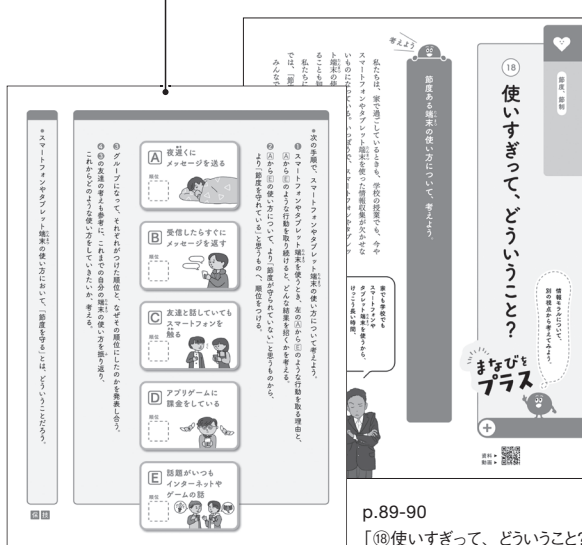


p.40-43「⑧魚の涙」

p.44-46「⑨いつもの教室の中で」

情報モラル

目の前にいない他者とわかり合うために何ができるか、端末との節度ある付き合い方とは、という二つの観点で考えていきます。

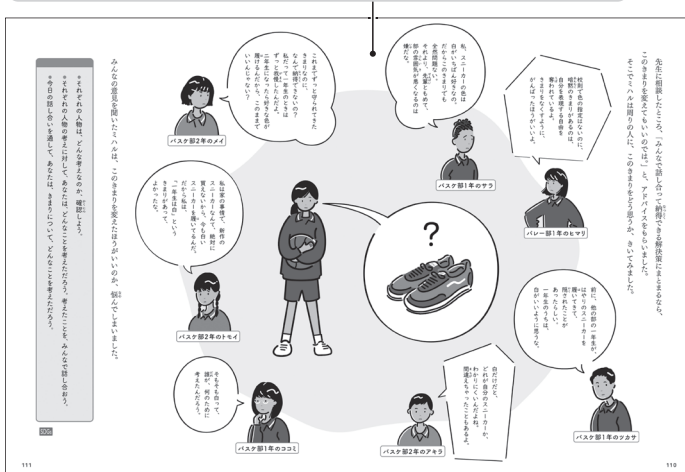


p.89-90

「⑱使いすぎて、どうしよう？」

多面的・多角的な見方

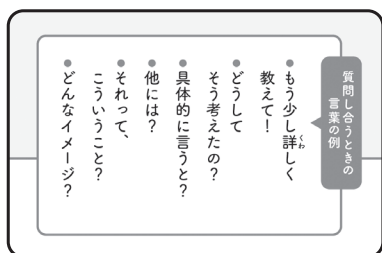
「きまりを守る心」について考えた後に、生徒の身近な部活動を話題に、よりよいきまりの在り方について考えていきます。



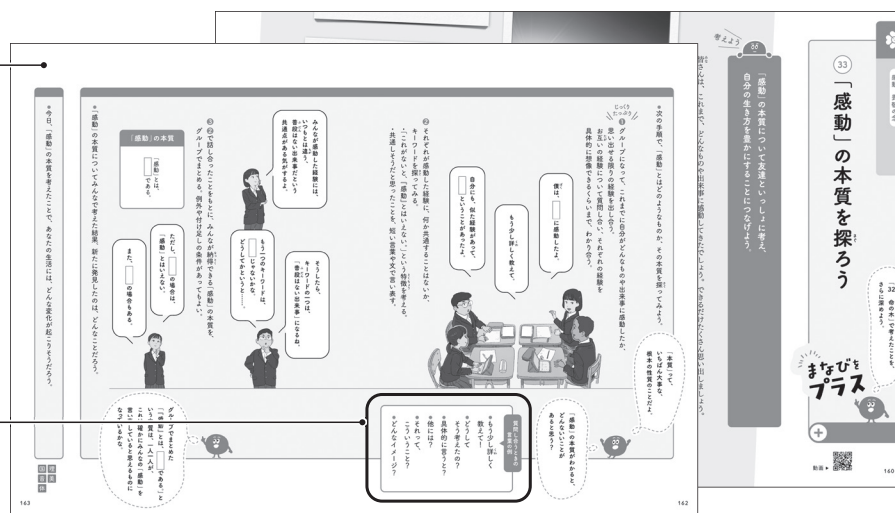
p.109-111「㉔白いスニーカー」

物事の本質に迫る

前の時間に、「㉔命の木」で考えた「感動」の源。そこからさらに話し合いを通して、「感動」の本質に迫っていきます。考えを深めていくためのヒントも豊富に示しました。



p.160-163「㉔「感動」の本質を探ろう」



2. 対照表

[第 1 学 年]

図書の構成・内容		視点※				学習指導要領の内容	該当頁	配 当 時 数	配 当 学 期
						内容項目			
		A	B	C	D				
	巻頭詩						表2- 1		一 学 期 12 時 間
中学生として、 どんな自分で ありたい？	1 道徳の学習を始めよう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	6-11	1	
	2 父の言葉		○			思いやり、感謝	12-14	1	
	道徳で大切にしたいこと	○	○	○	○	内容項目を限定しない	15		
	3 自分で決めるって？	○				自主、自律、自由と責任	16-18	1	
	4 学習机		○			礼儀	19-22	1	
	5 「養生訓」より	○				節度、節制	23-27	1	
	6 席を譲ったけれど		○			思いやり、感謝	28-31	1	
	〈やってみよう〉自分の気持ちを相手に伝えるには		○			思いやり、感謝／相互理解、寛容	32-33		
いじめを許さない 心について考える	7 親友		○			友情、信頼	34-39	1	
	8 魚の涙			○		公正、公平、社会正義	40-43	1	
	9 〈まなびをプラス〉いつもの教室の中で			○		公正、公平、社会正義	44-46	1	
よりよい 学校生活を 送るためには？	10 レタス博士	○				真理の探究、創造	47-50	1	
	11 みんなで成功させよう			○		よりよい学校生活、集団生活の充実	51-55	1	
	12 ひまわり				○	生命の尊さ	56-59	1	
自分の行動に 責任をもつとは？	13 夢を諦めない——「ねぶた師」北村麻子	○				希望と勇気、克己と強い意志	60-65	1	
	14 見方を変えたと	○				向上心、個性の伸長	66-69	1	
	15 裏庭での出来事	○				自主、自律、自由と責任	70-75	1	
	16 「ソーセージ」の悲しい最後				○	自然愛護	76-79	1	
	〈コラム〉「生物多様性」を知ろう	○			○	節度、節制／自然愛護／感動、畏敬の念	80-81		
	なんだろう なんだろう			○		公正、公平、社会正義	82-83		
	〈やってみよう〉今日の「てがつく」	○	○	○	○	内容項目を限定しない	84		
情報モラルに ついて考える	17 わかり合うために		○			相互理解、寛容	85-88	1	
	18 〈まなびをプラス〉使いすぎて、どういこと？	○				節度、節制	89-90	1	
社会の一員として 生きるためには？	19 僕の家族、地球の家族			○		家族愛、家庭生活の充実	91-95	1	
	20 初めてのボランティア			○		社会参画、公共の精神	96-99	1	
	21 動物の命——私たちにできること				○	生命の尊さ	100-103	1	
	22 仏の銀蔵			○		遵法精神、公德心	104-108	1	
	23 〈まなびをプラス〉白いスニーカー			○		遵法精神、公德心	109-111	1	
	24 私が働く理由			○		勤労	112-116	1	
	共に生きるために 大切なこととは？	25 私の話を聞いてね		○			相互理解、寛容	118-121	1
26 差別の根底にあるものは？				○		公正、公平、社会正義	122-126	1	
27 むこう岸には				○		国際理解、国際貢献	127-133	1	
〈コラム〉私たちのもっている人権って？				○		遵法精神、公德心／公正、公平、社会正義	134-135		
よりよい社会を つくるためには？	28 レオナルドと僕			○		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	136-139	1	
	29 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」				○	生命の尊さ	140-144	1	
	〈まなびの準備〉自分が暮らす地域の特長を思い浮かべてみよう				○	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	145		
	30 自分の地域の「宝」って？			○			146-149	1	
これから、 どんな自分に なりたい？	31 銀色のシャープペンシル				○	よりよく生きる喜び	150-154	1	
	32 命の木				○	感動、畏敬の念	155-159	1	
	33 〈まなびをプラス〉「感動」の本質を探ろう				○	感動、畏敬の念	160-163	1	
	34 撮れなかった一枚の写真				○	よりよく生きる喜び	164-167	1	
	35 一年間の学びを振り返ろう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	168-171	1	
	〈付録〉橋の上のおおかみ		○			思いやり、感謝	172-174		
	〈付録〉雨の日の昇降口			○		遵法精神、公德心	175-177		
	〈付録〉日本の郷土玩具			○		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度／ 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	178-179		
	〈付録〉まなびの道具箱	○	○	○	○	内容項目を限定しない	180-181		
合計時数								35	適宜

※ 視点の内容 A：主として自分自身に関する事 B：主として人との関わりに関する事 C：主として集団や社会との関わりに関する事
D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事